

人生初天体観測！



11月8日

に皆既月食が見られると知り、急きよ、保護者から天体望遠鏡をお借りして田人小中学校のグラウンドで天体観測を行いました！



→子ども達は月食より「夜の校庭」に大喜び。それ以外の思いい出に「これ本物！？」と驚いていました。

→とはいえ、天体望遠鏡越しにはっきり映るお月様に「これ本物！？」と驚いていました。



子ども預かり、テレビ出演！

子ども尽くしの秋でした！

初めてのほっこり祭！



ある日、いつもの様におやつをみんなで食べていたところに福島テレビが取材に！

アポなしで田人中を回って取材していたところ、たそいで、「せっかくだから近くに住んでる子ども呼んで来よう」とみんなで大騒ぎに（笑）。

番組は12月7日～13日の福島テレビ「シェア」（16:00頃）内の「ふるさとシェア」というコーナーで毎日各5分ずつ放送される予定です。子ども預かりだけじゃなく、田人の観光スポットや人物も沢山紹介されるので普段知ってる田人とは違う一面が知れるかもしれません。是非ご覧ください！



↑しもさん特製ピニャータ



しもさんが企画してくれた「ピニャータ」というメキシコのハロウィンを行いました！半紙で作ったくす玉にお菓子を入れ、それを皆で思いっきり叩き割りました。「壊していいよ！」という言葉に目をキラキラさせ、楽しいイベントになりました！

季節のフェア

琴水チャンネル



ひとたびでは地元産業の活性化に繋がるように地産地消に力を入れてメニュー開発を行っています。

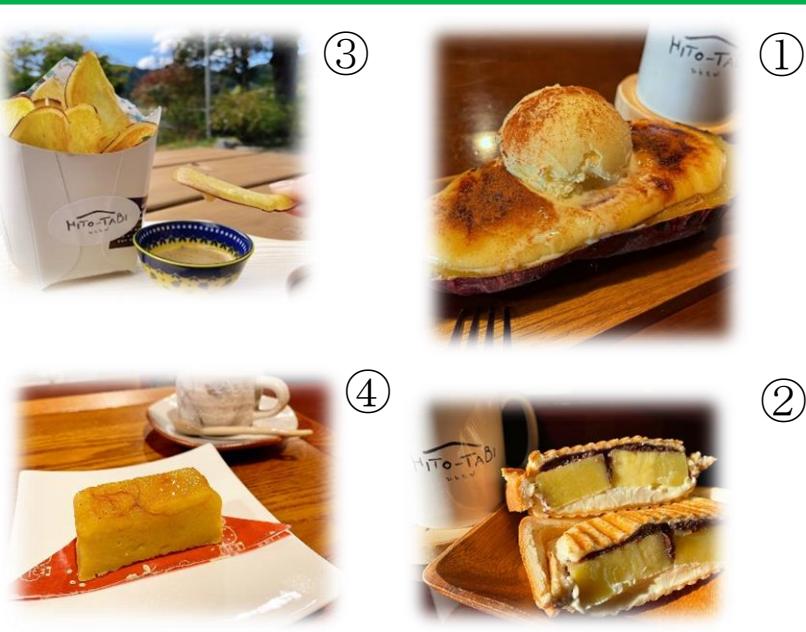
11月からは地元のさつまいもを使ったスイーツフェアを始めました。味はもちろん、見た目も楽しいメニューを皆で考えています。たまに地域の方にも試食をしてもらいながらお客様に届ける準備をしています。今回のフェアのスイーツは4種類です。

①カスタマイズ焼き芋ブリュレ

②ひとたび特製おいもサンド

③そのまま芋チップ

④ずっしり芋ようかん
このフェアはさつまいもがなくなり次第終了です。そして、11月20日から新たに自然薯を使ったメニューも始めました。旬の食材で四季を味わってもらえるように今後も努めて参ります！



今年を振り返って

早いもので今月で今年も終わります。

いつも12月になると今年はどうな一年だったかなと一人考えています。今年が目標は『縁を大切に前に前に進んで大きく飛躍する』でした。

有難いことに今年もメディアに取り上げて頂くことも増え、田人、そして自身のことを多くの方に知ってもらう機会に恵まれたと感じます。それと同時に沢山の方への感謝と自分への覚悟を決めた一年でもありました。

ありのままの自分で成長出来ているのは沢山の人が私に靴をはかせてくれたからだと感じています。【地域おこし協力隊】という靴、そして活動拠点の【HITO-TABI】という靴。そしてそれを地域の方、役所の職員の皆様、いつも一緒に働いてくれていた仲間、履かせて貰ったから私は前に進んでいるのだと思えます。一人では何もできません。自分らしい生き方ができているのは間違いなく今周りにいる沢山の方のおかげです。田人に来て2年。2年前この選択をして良かったなと心の底から思った一年も引き続きよろしくお願ひ致します。



2022年「希望の一粒」パッケージが決まりました！

田人小中学校との連携ブランド米プロジェクト「希望の一粒」について、今年も田人中学校全校生徒が、美術の時間を通して、パッケージのデザインを行ってくれました！

中学生とは思えないほど魅力的な作品が多くとも悩みましたが、今年も、米袋用・米粉用の各部門2名の生徒の作品を選ばせていただきました。



○米袋部門…2年生 緑川いずみさん

制作者コメント

昨年5月に小中学校合同で実施した田植えが、未だに色濃く記憶に残っていると、私だけでなく周りの友だちとも同じように話をします。田人小中学校全員で自然に触れ合うことができたことは、貴重で思い出深い体験となりました。



制作者コメント

田人で一番良い所を考えた時小高神社までの並木道が一番の場所だと思いました。その並木道の風景は、綺麗で神秘さがあり、田人の良さが詰まった場所だと感じて絵にしました。

○米粉部門…3年生 瀬谷菜斗さん

現在、この田人小中学校の子ども達と貝泊地区で作った「希望の一粒」が、沢山の人の手に渡り食卓に並ぶように、6次化創業塾に参加し勉強しています。「希望の一粒」が田人町の名産物の一つとなることで、街場の商店や様々なイ



私事ではございますが、11月11日に第一子(長女)が無事誕生しました。沢山の方から祝福の言葉を頂きありがとうございます。夫婦から家族としてこれからもよろしくお願い致します。

ベントなどで販売され、沢山のの人に田人町を知ってもらう機会を作り、更に昔ながらの田園風景を維持し続け、関わってくれている田人の子どもの自信に繋がってほしいと考えています。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

4年ぶりの「ほっこり祭」大盛況！

11月20日(日)に、4年ぶりの「ほっこり祭」が行われました。

今年は規模を縮小した「ほっこり祭」ではありましたが、約1200名のお客様が来られ、軽トラバザール・お惣菜がすべて売り切れ！終了時刻を14時と予定しておりましたが、1時間早い13時に終了しました！

田人に着任して初めて、念願の「ほっこり祭」に参加することが出来、とてもうれしい日となりました。運営に携わってくださった皆様。

本当にありがとうございました！



私は「希望の一粒」の販売を行っていました。東日本国際大学の留学生である楊(ヨウくん)・黄(コウくん)がお手伝いに駆けつけてくれました。そして、中学生8名も手伝ってくれました！！無事に用意しました精米合計182kgを売り切ることが出来ました。本当にありがとう～！！



沢山の方にインタビューをさせていただきました田楽田も今年度は残りわずかとなりました。そこで！少し主旨を変えて残りの数回は、田人町内で新たな試みに挑戦している方を紹介させて頂くことで、少しでも応援させて頂きたいと思っております。

今回は、下條がよくお手伝いをさせていただいている黒田地区にて令和元年から耕作放棄地を開拓し、田人ワインを製造している「芳賀正道(はがまさみち)」さんです。

正道さんは、栃木県の生まれですが、お父さんは田人出身で、小さい頃は、毎週のようにお父さんに連れられて、祖父に会いに田人町へ遊びに来ていたそうです。

東京で働いていた時、福利厚生で勉強をする時間を多くいただいたので、その時、日本の食料自給率の低さに驚いたそうです。

「世界情勢が悪くなった時、自分の周りの人が、ちゃんとご飯を食べられるのだろうか？」と考え、小さい頃祖父に言われた「一緒に農業をやろう。」という言葉を思い出して、自分の生まれた原点でもある田人町で農家になることを決めたそうです。

しかし、農業もやったことのない若者の自分が何をすればいいのか？考えて考えた抜いた結果、当時いわき市には無かったワインの製造に行き着いたそうです。

それから、山梨県のワイン農家さんのところへ数年間修行をさせてもらい、その後いわきワイナリーさんに誘われ、製造を手伝うなど、田人ワイン

に向けて行動されたそうです。今では、田人町・久之浜併せて約5ha(東京ドーム一つ分)の面積のブドウ園を一人で管理されているそうです。

今年は天候不順など、不安があったが、立派に育ってくれて、昨年以上に美味しいワインができる予定との事です。

「田人ワインを楽しみ、収穫祭などに人が訪れ、宿やお店にお金を落とす。そんな場所にしていきたい。」と力強く話されています。

これからも応援しています！貴重なお時間ありがとうございます！次回はおっしゃーが行います。



HITO-TABI ひとたび通信

12月営業日

水木金土曜日
+ 第四日曜日営業
(今月は25日)

※今年の最終営業日は25日です！

HITO-TABI
住所：田人町黒田字唐沢35
TEL:070-2437-9633 (ご予約可)